

鍋島トラベルアワードを受賞して

第1回鍋島トラベルアワードを受賞して

高野 哲也

(Department of Cell Biology, Duke University Medical School)

2018年9月6日～8日に第40回日本生物学的精神医学会・第61回日本神経化学会大会が神戸にて開催され、私は幸いにも日本神経化学会からの鍋島トラベルアワードを受賞し、本大会に出席することが出来ました。本大会では、基礎研究から臨床研究まで非常に幅広く様々な分野の最新の知見を得られたばかりでなく、若手研究者の非常にエネルギッシュな雰囲気を感じ、大変有意義なものとなりました。本大会では2日目に“Chemico-genetic discovery of molecules underlying tripartite-synaptic function *in vivo*”というタイトルで発表させて頂きました。私の発表では、鍋島トラベルアワードを受賞させて頂いたことで、多くの先生方や学生の方が発表を見に来て下さり、非常に多くのご質問やコメントを頂くなど活発な議論をさせて頂きました。さらに、本大会では「理事長と話してみよう」というコーナーにて和田先生から近い将来の神経化学分野に関する貴重なお話などを聞かせて頂いたこと、驚くばかりで大変勉強になりました。また今回、幸運にも鍋島トラベルアワードと共に奨励賞も与えて頂き、伝統のある日本神経化学会にて、このような2つの名誉ある賞を頂けたことは私にとってこの上なく嬉しいものでした。この大変貴重な経験を今後の私の研究に活かして一層精進していきたいと深く感じました。同時に、海外にてご活躍される若手研究者がこのような素晴らしい鍋島トラベルアワードという制度を活用して、魅力のある日本神経化学会に積極的に参加して頂けたら幸いにも思っております。

最後になりますが、日本神経化学会から旅費のご援助をして頂き、心から感謝しております。ご尽力いただきました鍋島俊隆先生、日本神経化学会理事長の和田圭司先生、国際対応委員会委員長の和中明生先生、並びに関係者の先生方に深く御礼申し上げます。